

藤田 勝也 (和歌山/94期)

このところF1戦では2場所に1回のペースで決勝に乗っているし、5月函館記念では2⑥②⑧着と2連対を果たした。同格戦のみならず準決でも好位置があるようなら連がらみが期待できる。



木村 隆弘 (徳島/91期)

最近では差し脚好調だ。ここ5場所の初日予選は2勝、2着2回で連対率は8割。4月川崎記念は展開が良かったとはいえ、予選を1②着でクリアすると準決は4分の3輪差の4着、あわや優参の好走を演じた。



張野 幸聖 (和歌山/115期)

今期は初のS級戦。A級のときよりも組み立ては積極的で、直近4カ月の連がらみはすべて逃げてのもの。5月松阪の準決は逃げて4着に沈んだものの、久木原洋を不発に陥れて元砂勇の勝利に貢献した。



国際トラック支援ナイターG3 ガールズ4日制

児玉碧が威厳を示す

出場予定選手詳細 ※2021年5月30日現在

選手名	所属	期	身長	直近12場所成績	総合評価
児玉 碧衣	コタマアオイ	108期	169cm	95 [2]	24 [7] 0
山原 さくら	高知 高知市	104期	164cm	92 [6]	9 [21] 0
田口 梓乃	山口 岩国市	102期	156cm	78 [17]	0 [1] 0
豊岡 英子	大阪 阪南市	114期	165cm	76 [16]	0 [1] 0
柳原 真緒	福井 福井市	114期	164cm	88 [9]	0 [1] 0
高木 佑真	タカキ ユマ	116期	165cm	80 [12]	0 [1] 0
佐藤 水菜	サトウ ミナ	114期	163cm	93 [3]	0 [1] 0

4日制ナイターで、児玉碧衣、佐藤水菜、山原さくら、柳原真緒とガールズトップが激突する。普通開催ではなかなか実現しない顔合わせで、特に児玉と佐藤の対戦となれば現在の頂上対決とも言っても過言ではない。本命はやはり女王・児玉だ。今年の戦績は31戦して27勝、2着3回。5月京王閣でのコレクションでは佐藤の後塵を拝して今年唯一の着外に沈んだとはいえ、敗因は組み立てミスに尽きる。持つてるスピード、加速力は間違いなく自分のタイミングで仕掛けて力を出し切ることには専念すれば勝てる。

児玉を倒して初めてコレクションを制した佐藤の勢いを重視する手も。そこまで16回戦って先着すらしたことがなかった児玉の壁を乗り越えた事実は大きい。ナショナルチーム入りしてからの成長はとにかく著しく、今年は



児玉 碧衣



佐藤 水菜

17戦15勝、3着2回。ダッシュもスピードのキレも格段に良化しただけに、再び打倒児玉に策を練ってきそう。

山原も四国のシリーズだけに簡単に引き下がれない。『気持ち弱い』と決勝となると力を発揮し切れないレースもあるが、28勝、5Vという今年の戦績は堂々たるもの。パワーは児玉、佐藤とも引けを取らない。現に1月当所では児玉のまくりを差して優勝している。再び一矢報いたい。

5月はあっせんがなかった柳原だが、4月福井は今年4度目の完全V。福井の決勝は逃げ切り勝ちで、破壊力あるまくりだけでなく、長い距離を踏んでも勝負になる。練習は十分だろうし、波乱を呼べるか。

成長株の高木佑真、ポテンシャル高い永禮美瑠も上位争いに加わっていききたい。ともいうまく流れに乗っていきけるかどうか。位置取り確かな田口梓乃も連候補に挙げられる。